

株式会社エックスネット 2017年3月期・第2四半期決算説明会

XNET

Application Outsourcing

株式会社 エックスネット (証券コード: 4762)

2016年11月4日

*Outsourcing
Expert* XNET

エックスネットのご紹介（会社概要・沿革）

- 当社は創業以来25年間「資産運用管理専門」のシステム提供と業務サポートを行う企業です。
- 生命保険会社、損害保険会社、投信会社、投資顧問会社、信託銀行、各種銀行など金融機関を中心に160社を超えるお客様にご利用頂いております。

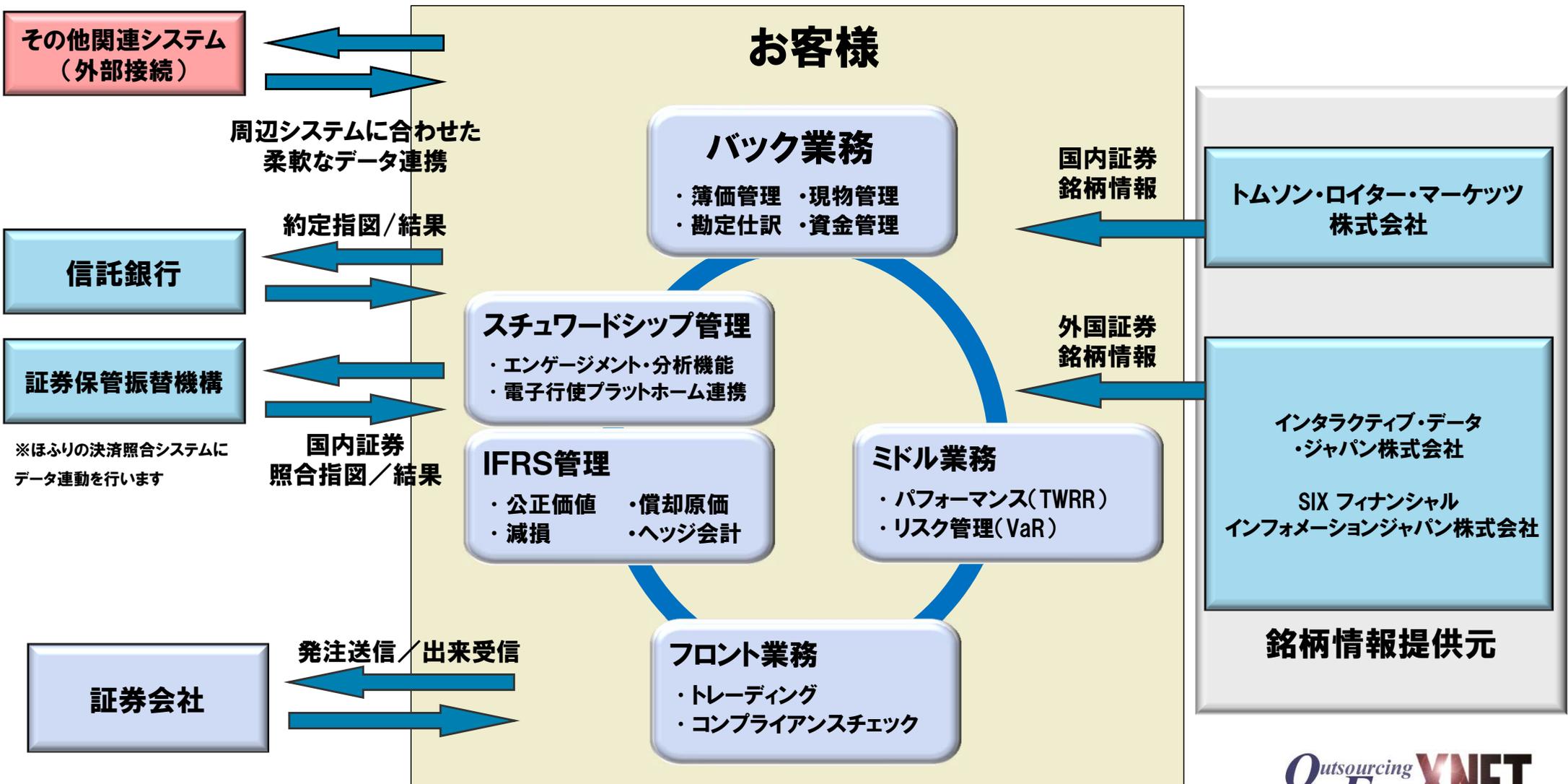
会社概要

会社名	株式会社 エックスネット
住所	東京都新宿区荒木町13番地4 住友不動産 四谷ビル4階
代表者	代表取締役社長 茂谷 武彦
設立	1991年6月3日(平成3年)
資本金	7億8,320万円
従業員数	163名(2016年3月末現在)
事業内容	<ul style="list-style-type: none">資産運用管理アプリケーションのアウトソーシング事業「XNETサービス」投資関連情報の配信サービス事業STPサービス事業（電子的な情報伝達を仲介するサービス）
主要顧客	銀行を含む広義の「機関投資家」

沿革

- 1991年 会社設立 ～ 「ミドルオフィス」向けサービス開始
- 1997年 「バックオフィス」向けサービス開始
- 1998年 「フロントオフィス」向けサービス開始
- 2000年 「NASDAQ JAPAN」市場の第1号銘柄として上場
- 2000年 センター型「STP」サービス開始
- 2001年 バックオフィス向けサービスに「約定主義対応」を追加
- 2002年 バックオフィス向けサービスに「融資管理機能」を追加
- 2002年 有価証券業務の「アウトソーススキーム」を確立
- 2003年 「東京証券取引所」市場第2部に上場
- 2003年 「投信計理」サービス開始
- 2003年 議決権行使管理に対応(スチュワードシップ・ソリューション)
- 2004年 東京証券取引所市場「第1部」へ指定替え
- 2007年 投信計理サービスにバックオフィス対応を追加
- 2009年 NTTデータと資本業務提携、連結子会社となる
- 2010年 投信計理サービスにオフショア対応を追加

XNETサービスの全体像は下記の通りとなります。
銘柄情報提供を含め、フロント～バックまでの資産運用管理業務を包括的にサポートしております。



XNETサービスの業態別導入実績

フロント、ミドル、バックを含めた資産運用管理システムのご利用実績は下表の通りです。(2016年9月現在)

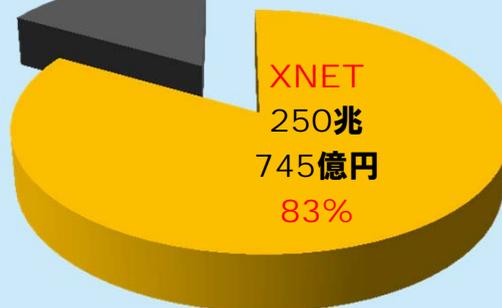
生命保険	損害保険	投信 投資顧問	銀行/ 信託銀行/ 信用金庫 等	証券会社他	その他金融/ 事業会社
22	13	49	37	32	7

Pick Up ↓

※OEM供給の「NISSAY-IT-XNET」実績含む

生命保険

その他 17%



【生保協会加盟全41社の有価証券運用総額(300兆5,235億円)に占めるXNET利用割合 (2016/3月期決算)】

損害保険

その他 5%



【損保協会加盟全26社の有価証券運用総額(23兆1,098億円)に占めるXNET利用割合 (2016/3月期決算)】

XNETのビジネスモデル

コンセプト

「**XNETサービス**」とは…

お客様(**企業**)に

サービス型(**月々のサービス料**)で

システムを提供



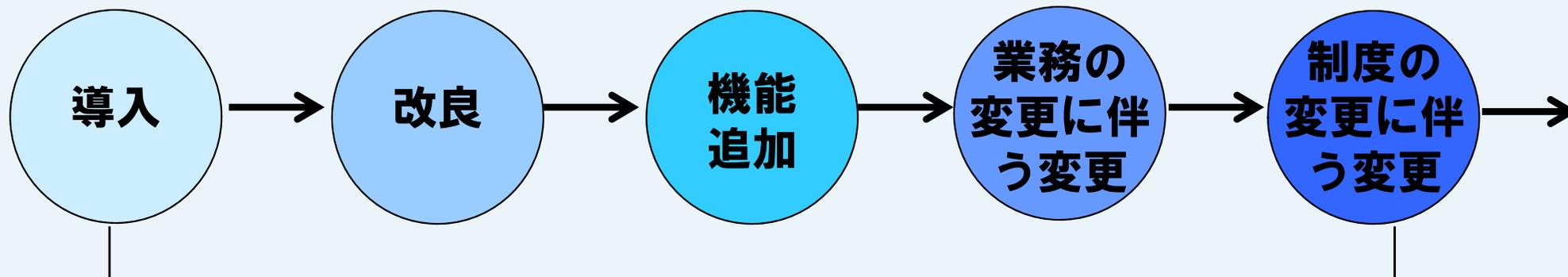
は創業以来1つの商品「XNETサービス」のみを推進

提供パターンの比較

	コンセプト	責任	業者
自社開発型	あなたの言われたものを作ります → コストは全額発注側負担 失敗リスクを1社単独で負担	発注する企業	SIベンダー ソフトハウス
パッケージ型	これを利用して下さい → 低額(但し変更・追加は高額)	販売する側	パッケージ ベンダー
サービス型	一緒にいいシステムを作しましょう → 変更・追加も含めて月額定額	両者の コラボレーション	XNET

「XNETサービス」のビジネスモデル

〈サービス型〉・・・陳腐化しないシステムの提供(現状よりスタートし、少しずつ改良、改善)



すべてを **月々の固定のサービス料** で対応

初期費用なし・追加投資なし

* XNETのメリットは？

- ・アプリケーションの著作権はすべてXNETが保有
- ・他社の利用時にも同一アプリケーションを展開・利用
- ・すべてのノウハウがXNETのアプリケーションに蓄積（知恵の共有）

お客様のご要望と共に「サービス提供範囲の拡大」

アプリケーション・アウトソーシング・サービス(AOS)

アプリケーション・
プログラムの提供

ハード・OS・
ミドルウェアの提供

「アプリケーション+基
盤」の設計・運用・監視
お客様作業

業務サービスの提供

インフォメーション・テクノロジー・アウトソーシング(ITO)

アプリケーション・
プログラムの提供

ハード・OS・
ミドルウェアの提供

「アプリケーション+基
盤」の設計・運用・監視
お客様作業

業務サービスの提供

アプリケーション・マネジメント・アウトソーシング(AMO)
ビジネス・プロセス・アウトソーシング(BPO)

アプリケーション・
プログラムの提供

ハード・OS・
ミドルウェアの提供

「アプリケーション+基
盤」の設計・運用・監視

業務サービスの提供

XNETの第2四半期決算と今期の見通し

2017年3月期・第2四半期累計 前年同期との比較

前年同期比2桁増収・増益

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	%
売上高合計	1,672	1,946	+16.4
XNETサービス	1,668	1,941	+16.3
機器販売等	4	5	+27.2
売上総利益	493	557	+13.0
販売管理費	200	217	+8.4
営業利益	293	340	+16.1
経常利益	306	353	+15.4
四半期純利益	202	246	+22.1
	円	円	
1株当たり四半期純利益	48.90	59.70	
	%	%	
営業利益率	17.5	17.5	
	円	円	
1株当たり配当金 (第2四半期末)	28	28	

2017年3月期・第2四半期累計 4月発表予想との比較

売上高・利益ともに予想を上回る。特に売上高については約2億円の上振れ。

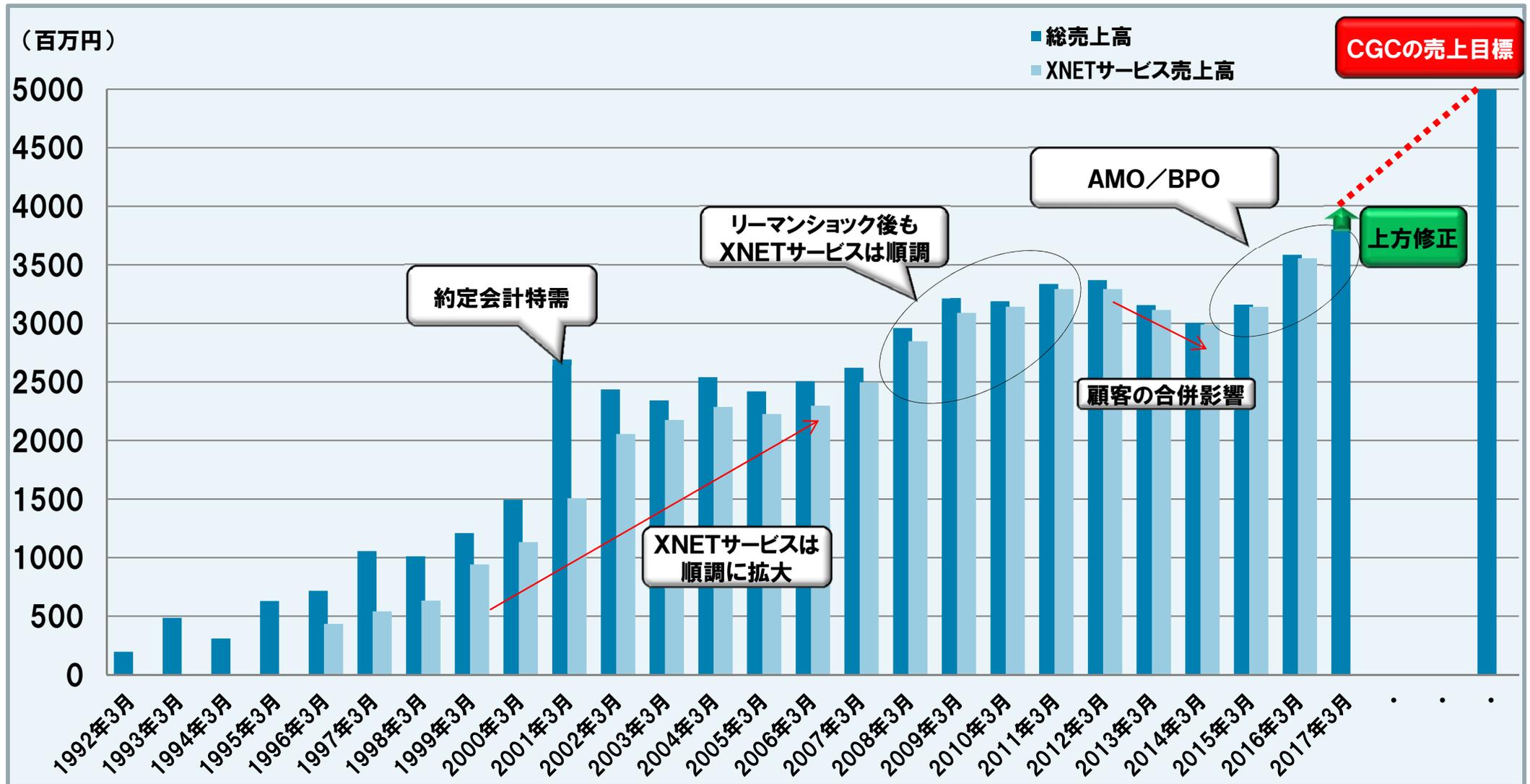
	予 想	実 績	増減幅
	百万円	百万円	百万円
売 上 高	1,750	1,946	+196
営 業 利 益	300	340	+40
経 常 利 益	310	353	+43
四半期純利益	210	246	+36

2017年3月期・通期業績予想

通期では、売上高のみを上方修正。利益については強含みで推移するも様子見

	2016年4月発表 期初予想	2016年10月発表 修正予想	修正予想 前期比増減率
	百万円	百万円	百万円
売上高	3,800	4,000	11.5%
営業利益	700	700	2.4%
経常利益	720	720	1.5%
当期純利益	490	490	7.6%

2014年3月期を底に、売上高は「新たな成長ステージ」へ



中期的経営戦略など

コーポレート・ガバナンス・コード(CGC)に関する考え方

- CGCは基本的にはコンプライするの正しい。(社外取締役の数、政策保有株式数0など)
- 一方で、当社の意志を明確に示さなければ、存在感は全くなってしまう。
- 当社の意志(特徴)は、中期経営計画をあえて発表しないということ。
- その代わりに2つの事を実践する。
 - ① 企業理念、社員の目指すべき姿、短期の業績予想、目標となる経営指標(期限なし)、中長期の経営戦略は公表する。

目標となる経営指標とは ...

 - 過去最高売上高(33.7億円:2012.3)の更新
⇒2016年3月期に更新、目標を売上高50億円の達成へ
 - 過去最高経常利益(8.86億円:2004.3)の更新
 - 売上高営業利益率15%以上
 - 有利子負債0の維持
 - ② ディスクロースは、社長が基本行う。

当社は創業以来、社長がディスクロース(株主総会での全発言やアナリスト、新聞対応)を担当してきた。
- 目標となる経営指標は毎年確認・再考し、修正や追加を行う。(目標に向かって毎年チャレンジする!)

「資産運用のワンストップ・ソリューション・カンパニー」

当社

資産運用会社(国内拠点)

(CEの悩み)

・お客様の業務内容が分からなくなっている

BPO室

BPO

AMO

会議室

(セキュリティの壁)

(お客様の悩み)

・人: 高スキルベテランの退職
・物: 自動化・アウトソース推進→ロジック?
・金: システム投資≠聖域

執務室

NTTデータグループ会社

協力会社

企業理念『資産運用のワンストップ・ソリューション・カンパニー』を目指す

< **XNETの使命 I** >

- ① 資産運用業界の業務の先生になる
- ② 資産運用業界の更なるコストダウンを

*そのための具体策

- ① アプリケーション/仕様書の更なるレベルアップ
- ② 業務マニュアルまでも作成+恒常的なブラッシュアップ
- ③ 日本人の「感性」を大切に業務遂行
- ④ セミナー等を通じた業界への情報発信

人財

- ① 資産運用業界で長年活躍したベテラン(業界に恩返しを希望する人)の雇用
- ② 誰もが認める高いスキルと高い意欲を持っている元社員の再雇用
- ③ 当社に籍を置き、当社の社風/文化をこよなく愛する人(派遣社員等)の採用

貢献①

貢献②

貢献③

資産運用会社(海外拠点)

< **XNETの使命 II** >

(データ照合の業務などを)
APACへ展開
・シンガポール/香港/ など

海外の資産運用会社

< **XNETの使命 III** >

運用拠点の日本進出
(東京国際金融センターへ)

Outsourcing Expert **XNET**